

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

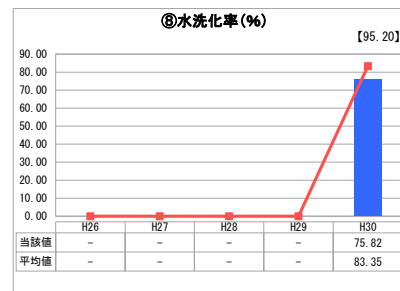
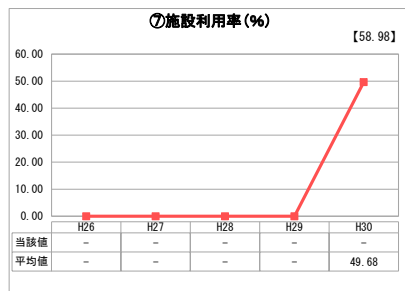
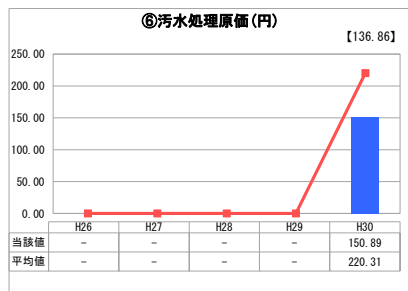
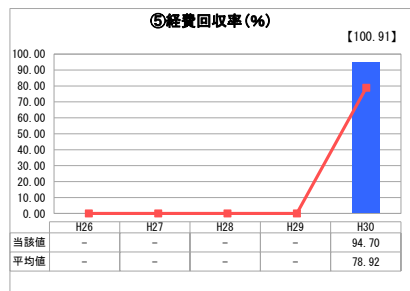
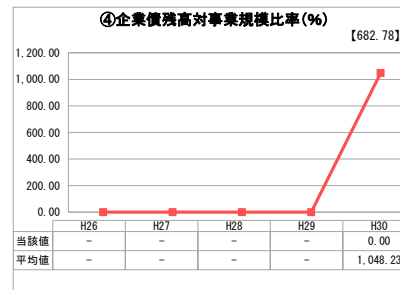
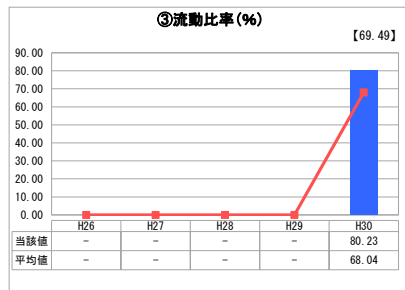
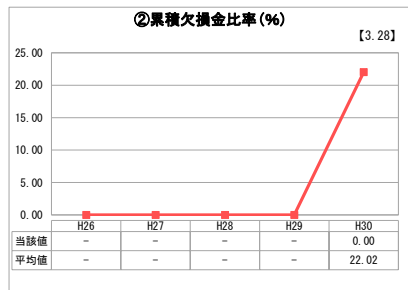
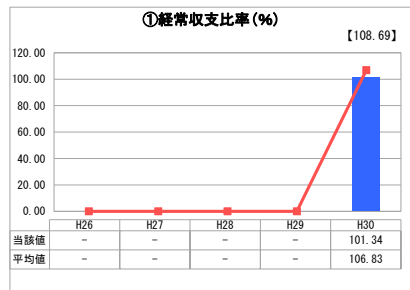
岡山県 鏡野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	49.32	57.56	100.00	3,240

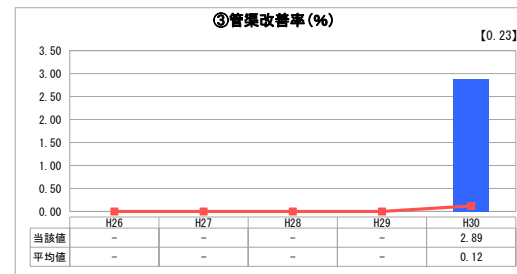
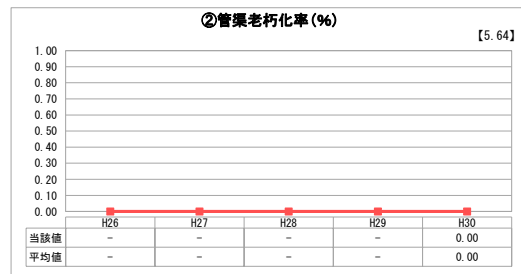
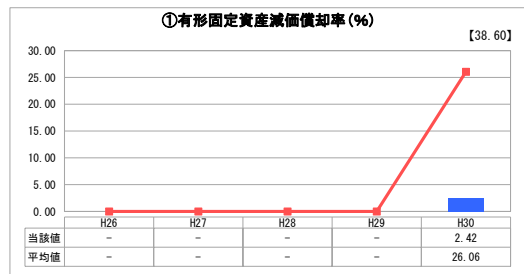
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,024	419.68	31.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,452	3.82	1,950.79

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

鏡野町の下水道事業は平成30年度より公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水、林業集落排水を一つの会計として公営企業法適用事業となった。  
 公共下水道事業の概況  
 ①経常収支比率についてはおおむね100%となっている。  
 ②流動比率については100%に満たないものの類似団体平均値よりは高い状況にある。  
 ③経費回収率については100%に満たないものの類似団体平均値よりは高い状況にある。  
 ④汚水処理原価については類似団体平均値より大きく低い。これは、汚水の全量を近接市の処理場で処理しており、コストの低減が図られているためである。  
 ⑤水洗化率については類似団体平均値より低いが、面整備が進められている段階であり、今後上昇するものと思われる。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については類似団体より大きく低い。比較的整備が遅いこと、処理場を持っていないため、耐用年数の短い電気・機械設備が少ないためである。  
 ②管渠改善率は現在も面整備が進められているため類似団体平均より高くなっている。

## 全体総括

当町の下水道4事業のうち、住宅密集地区となるため、比較的良好な経営状況である。地方公営企業法適用1年目であるため、今後の推移を分析する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

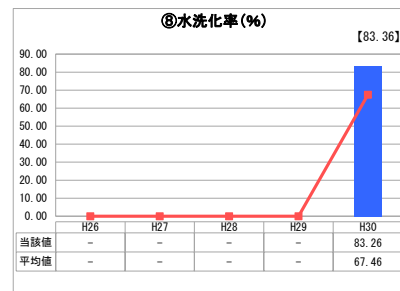
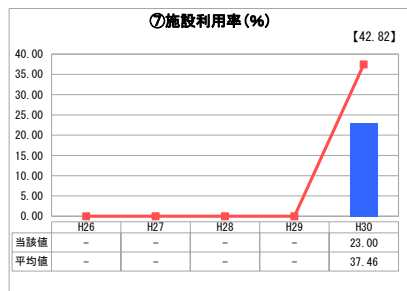
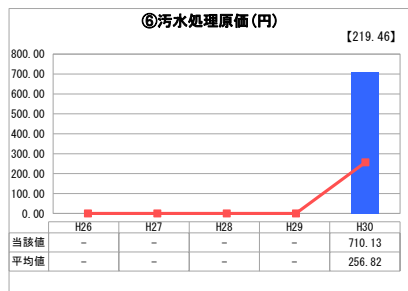
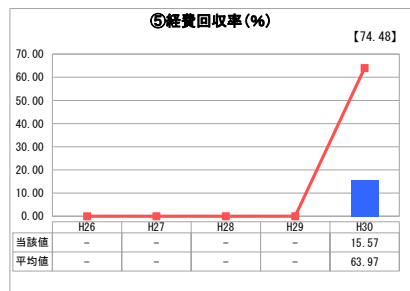
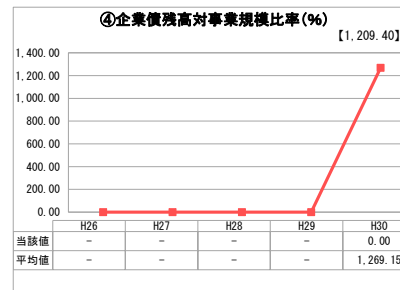
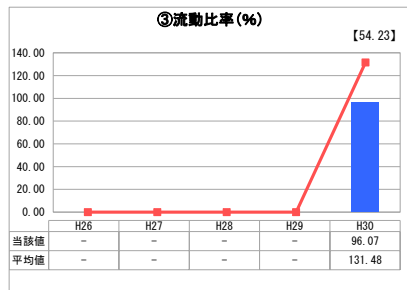
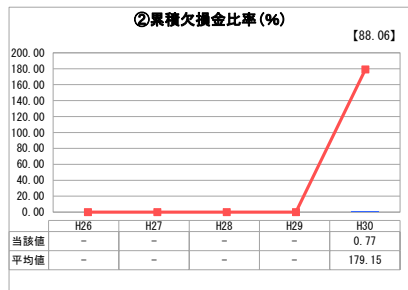
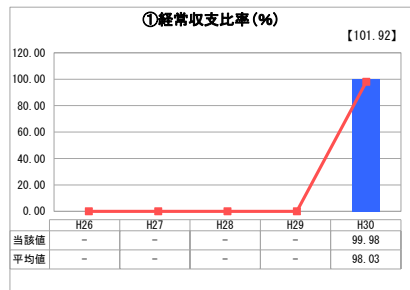
岡山県 鏡野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	64.39	1.66	100.00	3,240

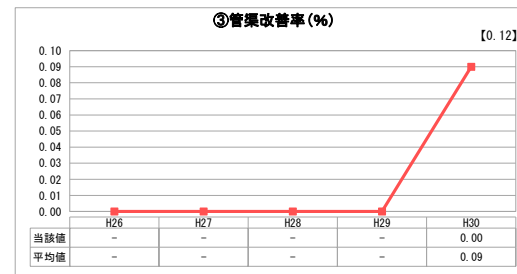
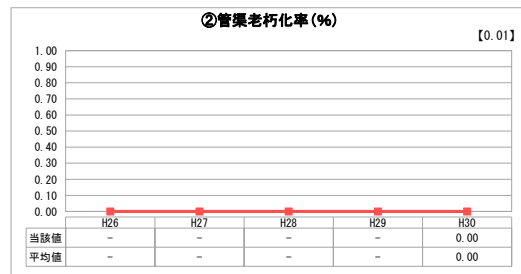
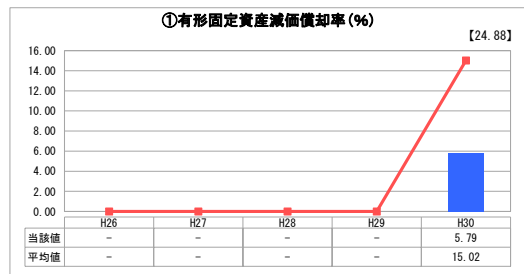
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
13,024	419.68	31.03
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
215	0.16	1,343.75

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

鏡野町の下水道事業は平成30年度より公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水、林業集落排水を一つの会計として公営企業法適用事業となった。

特定環境保全公共下水道事業の概況  
 ①経常収支比率についてはおおむね100%となっているが、一般会計からの繰入によるものが多い。  
 ②累積欠損金比率については維持管理に係る不足費用を一般会計からの繰り入れにより賄っているが、貸倒引当金の計上に係る部分が当年度純損失となった。  
 ③流動比率については100%に満たないものの当町の他下水道事業の中では最も高い状況にある。  
 ④経費回収率については類似団体平均値より大きく低い状況にある。今後、近接他地区との処理区の統合により、少しでも率を上げていく。  
 ⑤汚水処理原価については類似団体平均値より大きく高い。今後、近接他地区との処理区の統合により、少しでも原価を下げていく。  
 ⑥施設利用率については建設当時の見込みより処理場能力が過剰となっているが、近接他地区との処理区の統合により、利用率を上げていく。  
 ⑦水洗化率については類似団体平均値より高いが、今後とも地区内の水洗化に努める。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については類似団体より大きく低い。比較的整備が遅いためであると思われるが、処理施設の経年劣化による修繕費用が発生しつつあるため、長寿命化を今後検討する必要がある。

## 全体総括

当町の下水道4事業のうち、区域内人口が少ない地区となるため、経費回収が難しい状況である。今後は隣接他地区と処理場の統合を進め、少しでも維持管理に係るコストを低減する必要がある。地方公営企業法適用1年目であるため、今後の推移を分析する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

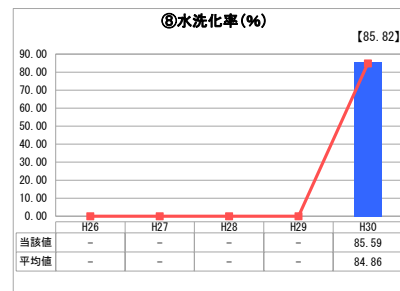
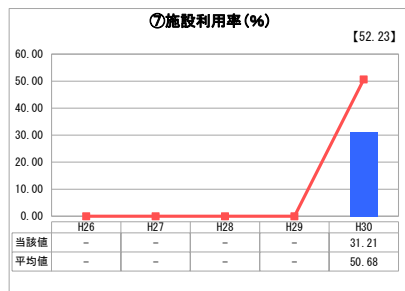
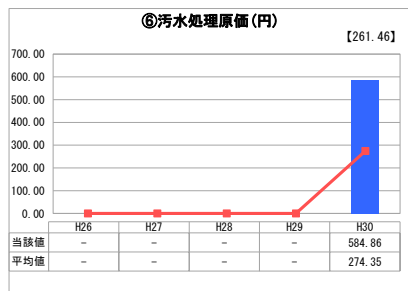
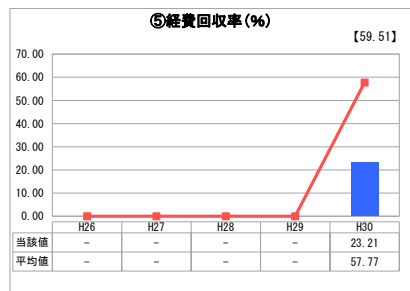
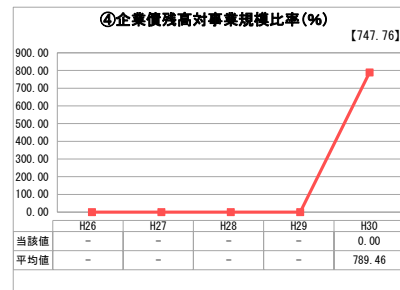
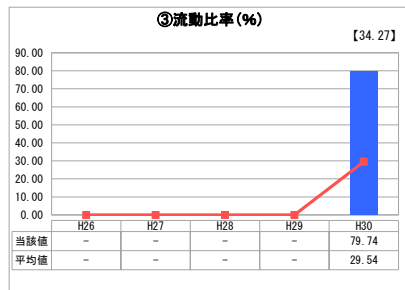
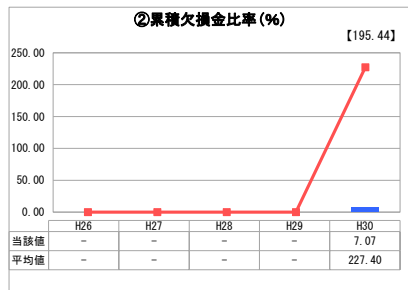
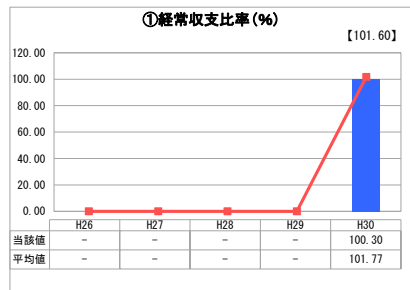
岡山県 鏡野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	60.77	16.51	100.00	3,240

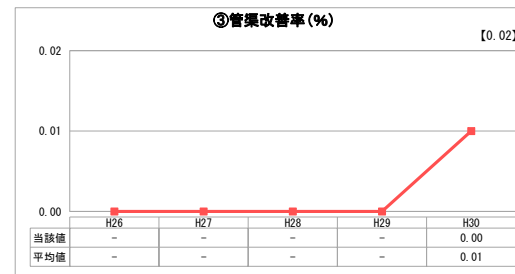
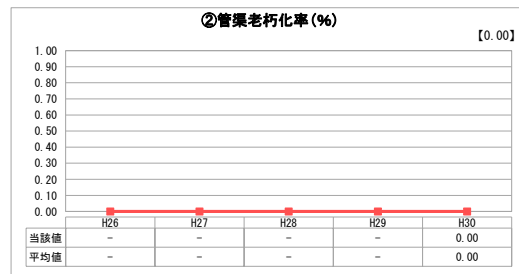
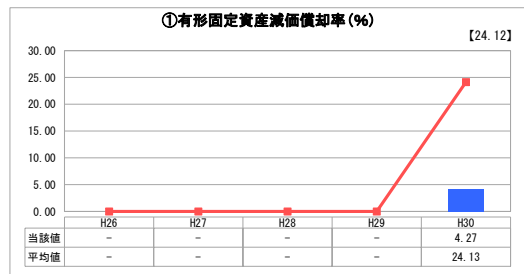
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,024	419.68	31.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,138	1.10	1,943.64

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

鏡野町の下水道事業は平成30年度より公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水、林業集落排水を一つの会計として公営企業法適用事業となった。

農業集落排水事業の概況

① 経常収支比率についてはおおむね100%となっているが、一般会計からの繰入によるものが多い。

② 累積欠損金比率については維持管理に係る不足費用を一般会計からの繰入により賄っているが、貸倒引当金の計上に係る部分が当年度純損失になった。

③ 流動比率については類似団体平均値を上回っている。

④ 経費回収率については類似団体平均値より大きく低い状況にある。今後、近接他地区との処理区の統合により、少しでも率を上げていく。

⑤ 汚水処理原価については類似団体平均値より大きく高い。今後、近接他地区との処理区の統合により、少しでも原価を下げていく。

⑥ 施設利用率については建設当時の見込みより処理場能力が過剰となっているが、近接他地区との処理区の統合により、利用率を上げていく。

⑦ 水洗化率については類似団体平均値とほぼ同じとなっている。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率については類似団体より大きく低い。比較的整備が遅いためであると思われるが、処理施設の経年劣化による修繕費用が発生しつつあるため、長寿命化を今後検討する必要がある。

## 全体総括

当町の下水道4事業のうち、最も多い8処理場を抱えているため、維持管理に係る経費回収が難しい状況である。今後は隣接他地区と処理場の統合を進め、少しでも維持管理に係るコストを低減する必要がある。地方公営企業法適用1年目であるため、今後の推移を分析する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

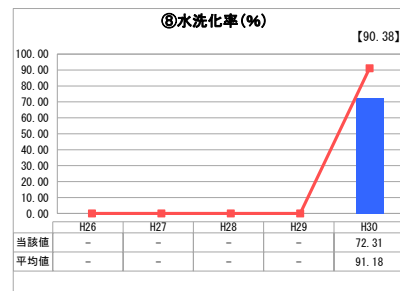
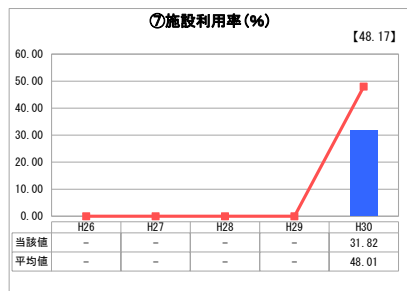
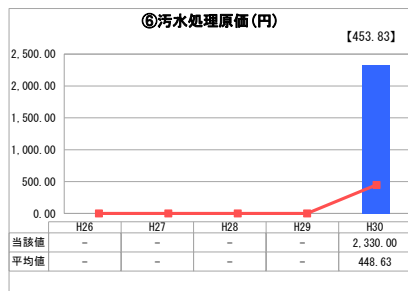
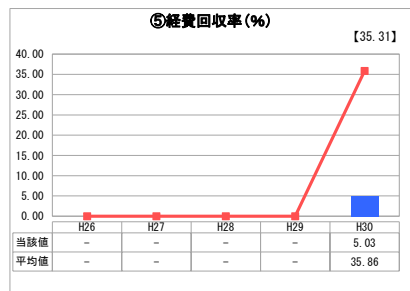
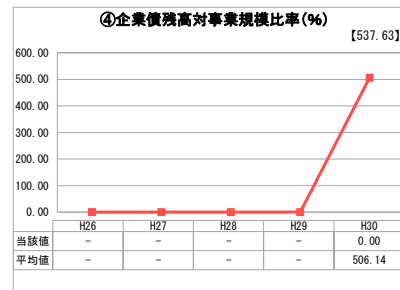
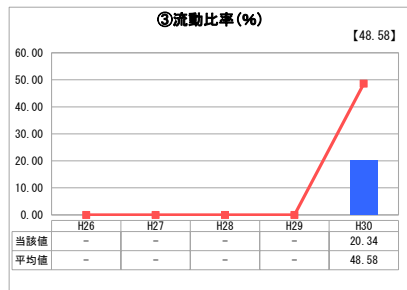
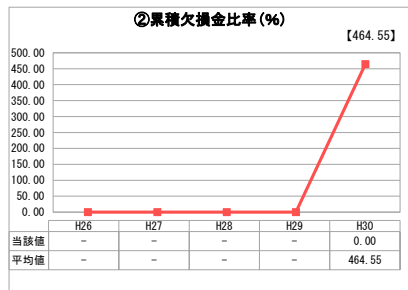
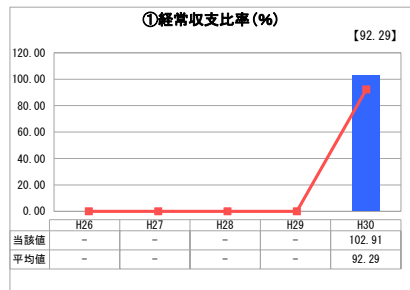
岡山県 鏡野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	林業集落排水	G2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	76.51	0.50	100.00	3,240

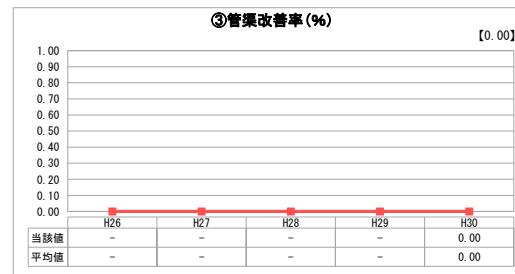
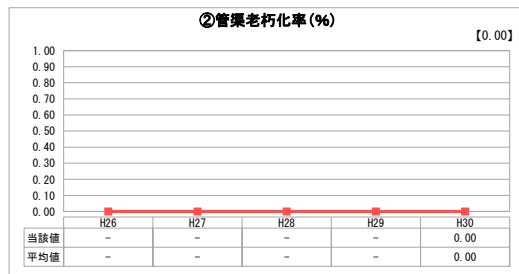
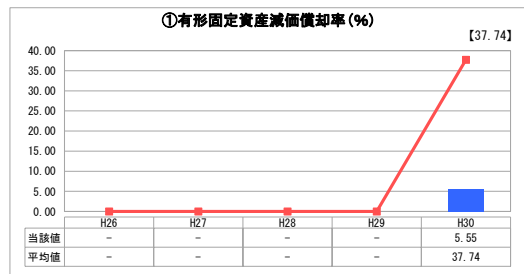
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,024	419.68	31.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
65	0.11	590.91

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

鏡野町の下水道事業は平成30年度より公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水、林業集落排水を一つの会計として公営企業法適用事業となった。

林業集落排水事業の概況

①経常収支比率についてはおおむね100%となっているが、一般会計からの繰入によるものが多い。

②流動比率については100%から大きく下回っている。今後繰入金により流動資産の割合を増やす必要がある。

③経費回収率については類似団体平均値より大きく低い状況にある。今後の運営について、処理方式も含めて検討する必要がある。

④汚水処理原価については類似団体平均値より大きく高い。今後の運営について、処理方式も含めて検討する必要がある。

⑤施設利用率については建設当時の見込みより処理場能力が過剰となっている。

⑥水洗化率については類似団体平均値より低く、今後、地区内の水洗化に努める。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については類似団体より大きく低い。比較的整備が遅いためであると思われるが、処理施設の経年劣化による修繕費用が発生しつつあるため、長寿命化を今後検討する必要がある。

## 全体総括

当町の下水道4事業のうち、最も区域内人口が少ない地区であるため、経営が非常に苦しいものとなっている。今後は処理方式も含め検討していく必要がある。地方公営企業法適用1年目であるため、今後の推移を分析する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。